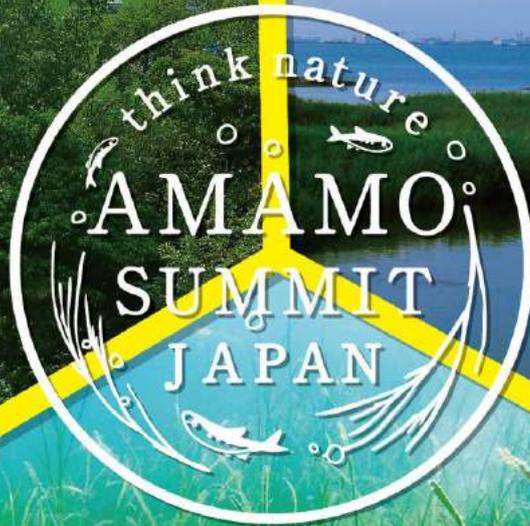


全国アマモサミット2018 in 阪南



開催までの歩み



箱作公園
大阪湾を挟んで淡路島

男皇川河口、
関西国際空港

www.hannannoumi.com



アマモ太郎
(下荘小学校 宮内権介くんデザイン)

阪南のアマモ場



アマモン

ここにある魚庭(なにわ)の海 きづこら・うごこら・つなごら

～5つのヒント・50,000の約束～

11/2(FRI).3(SAT).4(SUN) 会場：阪南市立サラダホール

全国アマモサミットとは、「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。



鳥取（波有手）のアマモ場



尾崎（福島）のアマモ場



移植アマモ



アマモの種

アマモ苗移植



アマモ花枝採取



アマモ花枝選別



春

アマモの花

アマモ場再生活動の一年



アマモの苗

冬



アマモ播種（種まき）



夏

花枝の養生

アマモ種子選別



秋

コウイカの卵



アマモ苗床づくり



アマモの花



アマモの種子

全国アマモサミット 2017 in 伊勢志摩 (平成 29 年 11 月 11・12 日)



はんなん里海プロジェクト 〈下荘小学校〉
(平成 29 年 11 月 20 日)



アマモ苗床づくり 〈西鳥取小学校・北陽高校〉
(平成29年11月21日)



第14回大阪湾フォーラム (平成30年2月24日)



全国アマモサミット 2018 実行委員会 設立総会・第1回総会 (平成30年5月9日)



【全国アマモサミット2018 in 阪南】 実行委員会 設立趣意書

わたしたちのまちには、人々の暮らしのすぐそば・程よい近さに山・里・海があり、それぞれは個別のものでなく、交じり合い繋がりあい、人々は、山・里・海の持つ豊かさや恵みを日々感じながら、暮らしています。

そして、わたしたちのまちの里海では、漁業や水産加工業を通じ、海を守り、人々が海の恵みを楽しむ営みが綿々と受け継がれ、また、アマモの保全・再生などの様々な活動を通じ、多くの市民・団体の皆さんが、人々が海と親しみ、海とふれあう場を繋げています。

このアマモの保全・再生活動には、地元小学校の児童たちも参加し、この活動を通じ、子どもたちが、海と人との関わりを知り、このまちの豊かな里海を自分たちのこととして考える場となっています。

これらは、古来、茅渚(ちぬ)の海や魚庭(なにわ)の海とも呼ばれ、魚介類の豊富な、海の恵みを人々に与え、また、多くの人々にとって今よりずっと身近な存在であった大阪湾を、今一度、身近なものとし、親しみ、触れあい、共有し、発信することでその魅力を再発見し、そして、次の世代へと繋げていくものだと考えています。

このような、本市の持つ里海の豊かさ、海と人との繋がり、本市の魅力を、皆さんとともに共有し、発信し、繋げていく。そして、その仕組みづくりを行う。

このことをより進めるため、平成20(2008)年の横浜大会以来、海のゆりかごといわれる「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指し行われている「全国アマモサミット」を、平成30(2018)年11月に『全国アマモサミット2018』として、本市で開催することといたしました。

ついでに、阪南のアマモ、山・里・海、大阪湾、そして全国の海に携わる皆さんとともに「全国アマモサミット2018 in 阪南実行委員会」を設立いたします。

平成30年5月9日

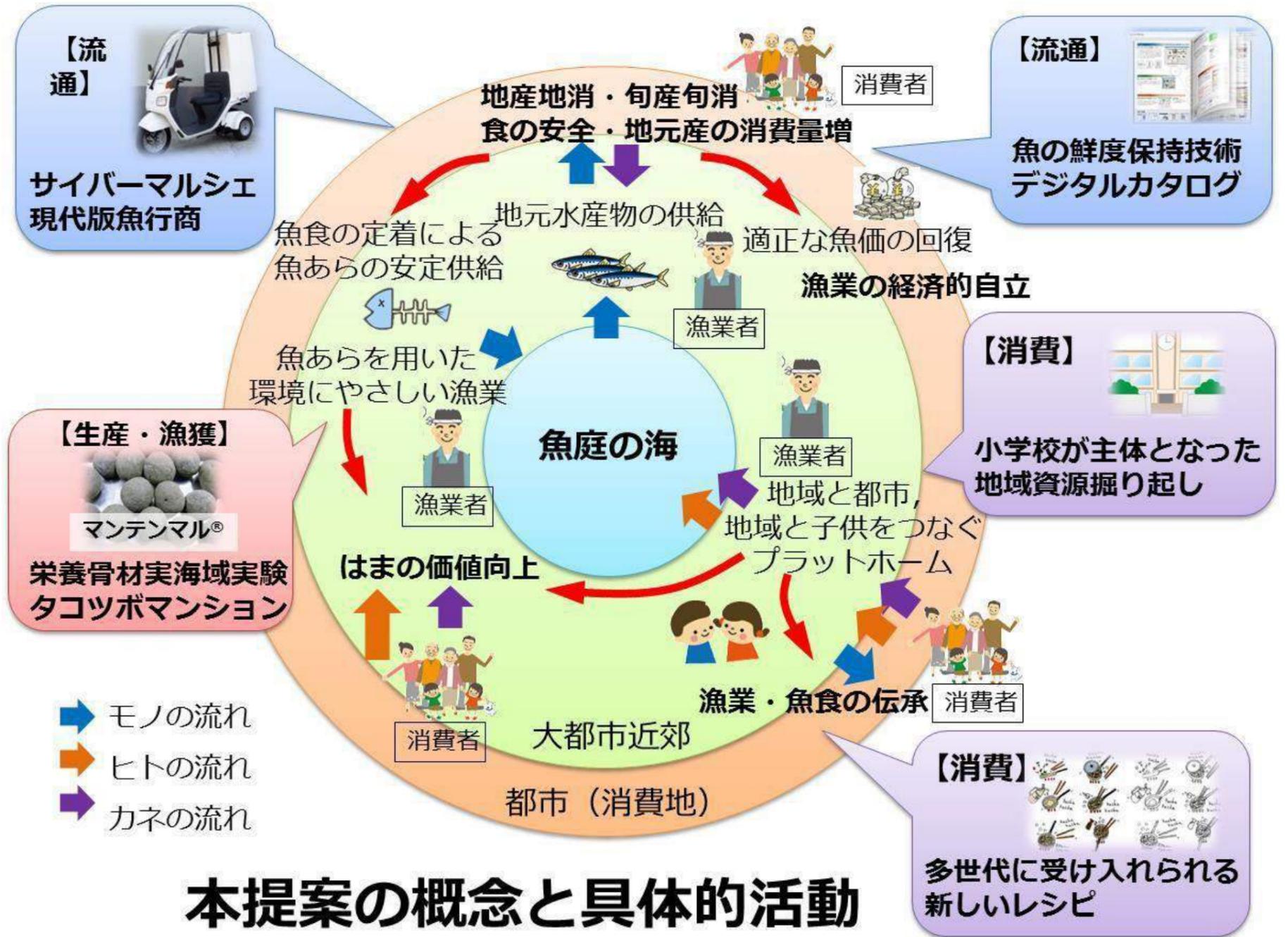
全国アマモサミット2018 in 阪南実行委員会
大会長 阪南市長 水野謙二



アマモ苗移植 〈西鳥取小学校・北陽高校〉
(平成30年5月15日)



魚庭の海再生プロジェクト成果報告会 (平成30年5月26日)



本提案の概念と具体的活動



阪南セブンの海の森協定書締結式 (平成30年6月1日)

2018年 新たな「セブンの森」の展開へ

「セブンの森」は、地域の自然環境やニーズに合わせた植樹を行い、10年後、20年後に桜や紅葉の森にする、というようなランドデザインを作り、長期的な計画を立てて、地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。

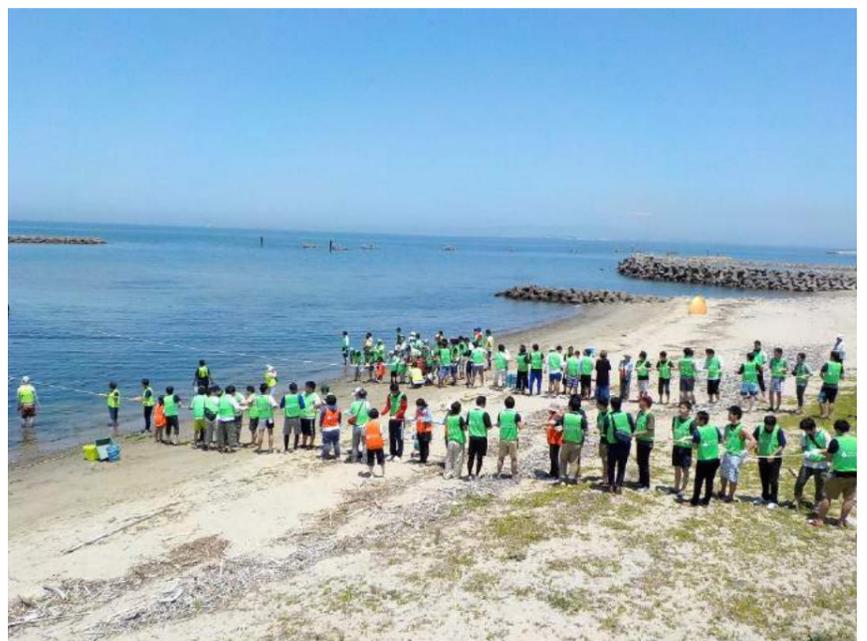
2018年度からは、国有林・公有林に私有林も

加え、地域の住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っていきます。

また、新たに大阪府阪南市でアマモを増やして海を再生する海の森づくり活動「阪南セブンの海の森(仮称)」づくりをスタートします。



阪南セブンの海の森 第1回活動 (平成30年6月2日)



アマモ花枝採取 〈西鳥取小学校〉
(平成30年6月14日)



アマモ花枝採取 〈下荘小学校〉
(平成 30 年 6 月 28 日)



アマモ花枝採取 〈舞小学校〉
(平成30年6月29日)



全国アマモサミット 2018 実行委員会 第2回総会 (平成30年8月30日)



大会テーマ

ここにある魚庭(なにわ)の海 きづこら・うごこら・つなごら
～5つのヒント・50,000の約束～

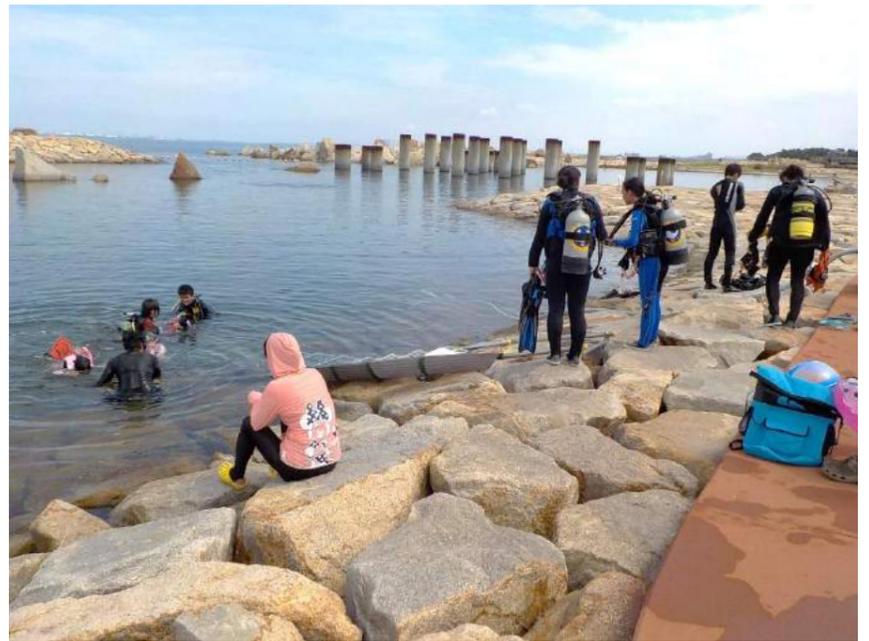
全国アマモサミットとは、「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している大会です。
平成20(2008)年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催され、平成29(2017)年は、三重県志摩市で開催されました。

第11回となる開催地「阪南」。

ここには、大阪都市圏というロケーションの中で、人々の暮らしのすぐそば・程よい近さに森・里・川・海があり、人々はこれらの豊かさや恵みを日々感じながら、暮らしています。
この豊かさや恵みは、あたりまえにあるのではなく、ここに住む人々や活動する人々が、守り、育ててきたものです。

私たちは、この大会を通じ、
これまで、守り・育ててきた、豊かさや恵みへの〔きづき〕、
今、行われていることをわかり〔うごく〕、
そして、全国各地の取組みや、シンポジウムの成果を、聞き、受けて、
これからも、豊かさや恵みを、守り・育てていく・様々な人々や世代のあいだを〔つなぐ〕
そのために、このサミットに参画する皆さんで、
「それぞれができること」「みんなでつくっていくこと」
それを「皆さんで話し合い、決めていく」
そのような大会を目指します。

せんなん里海さくらフェス
(平成30年9月2日)



アマモ種子選別 〈西鳥取小学校・北陽高校〉
(平成30年9月11日)





【全国アマモサミット2018 in 阪南】 実行委員会 設立趣意書

わたしたちのまちには、人々の暮らしのすぐそば・程よい近さに山・里・海があり、それぞれは個別のものでなく、交じり合い繋がりがあ、人々は、山・里・海の持つ豊かさや恵みを日々感じながら、暮らしています。

そして、わたしたちのまちの里海では、漁業や水産加工業を通じ、海を守り、人々が海の恵みを享受する営みが綿々と受け継がれ、また、アマモの保全・再生などの様々な活動を通じ、多くの市民・団体の皆さんが、人々が海と親しみ、海とふれあう場を繋げています。

このアマモの保全・再生活動には、地元小学校の児童たちも参加し、この活動を通じ、子どもたちが、海と人との関わりを知り、このまちの豊かな里海を自分たちのこととして考える場となっています。

これらは、古来、茅渚(ちぬ)の海や魚庭(なにわ)の海とも呼ばれ、魚介類の豊富な、海の恵みを人々に与え、また、多くの人々にとって今よりずっと身近な存在であった大阪湾を、今一度、身近なものとし、親しみ、触れあい、共有し、発信することでその魅力を再発見し、そして、次の世代へと繋げていくものだと考えています。

このような、本市の持つ里海の豊かさ、海と人との繋がり、本市の魅力を、皆さんとともに共有し、発信し、繋げていく。そして、その仕組みづくりを行う。

このことをより進めるため、平成20(2008)年の横浜大会以来、海のゆりかごといわれる「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指し行われている「全国アマモサミット」を、平成30(2018)年11月に『全国アマモサミット2018』として、本市で開催することといたしました。

ついでには、阪南のアマモ、山・里・海、大阪湾、そして全国の海に携わる皆さんとともに「全国アマモサミット2018 in 阪南実行委員会」を設立いたします。

平成30年5月9日

全国アマモサミット2018 in 阪南実行委員会
大会長 阪南市長 水野謙二

大会アーカイブ

- 2008年 第1回 全国アマモサミット 2008 ----- 神奈川県横浜市
海辺の自然再生に向けた地域連携・世代連携を探る
- 2009年 第2回 全国アマモサミット 2009 ----- 鳥取県米子市
全国のアマモ再生活動の取組みと、連携と協働で中海再生を探る
- 2010年 第3回 全国アマモサミット 2010 in 鹿児島 ----- 鹿児島県指宿市
「海のゆりかご」の再生をめざして
- 2011年 第4回 全国アマモサミット 2011 ----- 大阪府大阪市
アマモ場再生の輪を広げよう！
- 2012年 第5回 全国アマモサミット 2012 in 若狭 ----- 福井県小浜市
海の恵みをみんなの力で
- 2013年 第6回 全国アマモサミット 2013 in みやぎ ----- 宮城県塩竈市
とりもどせ！みやぎのうみ
- 2014年 第7回 全国アマモサミット 2014 in あおもり ----- 青森県青森市
むつ湾の恵みに感謝！これからも
- 2015年 第8回 全国アマモサミット 2015 in くまもと・やつしろ ----- 熊本県八代市
八代海（不知火海）・有明海の再生をめざして
- 2016年 第9回 全国アマモサミット 2016 in 備前 ----- 岡山県備前市（日生）
備前発！里海・里山ブランドの創生～地域と世代をつなげて～
- 2017年 第10回 全国アマモサミット 2017 in 伊勢志摩 ----- 三重県志摩市
未来に輝け!!とこわか海
- 2018年 第11回 全国アマモサミット 2018 in 阪南 ----- 大阪府阪南市
ここにある魚庭（なにわ）の海 きづこら・うごこら・つなごら
～5つのヒント・50,000の約束～

N E X T

2019年 第12回 全国アマモサミット 2019 ----- 宮城県塩竈市



平成 30(2018)年 12 月発行
全国アマモサミット 2018in 阪南実行委員会
〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町 35 番地の 1
tel : 072-471-5678 fax : 072-471-5781

